

令和6年度 支部事業実績報告

日本赤十字社沖縄県支部

支 部 事 業（日本赤十字社沖縄県支部）

- 1． 会員制度の普及促進と財政基盤の強化
- 2． 災害救護事業の強化
- 3． 国際救援活動の推進
- 4． 赤十字奉仕団の活動強化
- 5． 青少年赤十字の拡充
- 6． 講習普及事業の推進
- 7． 職員の資質向上のための研修の充実
- 8． 赤十字各施設間の連携強化
- 9． 有功会、評議員に関する取組み

その他管内の事業

- 1． 医療事業（沖縄赤十字病院）
- 2． 社会福祉事業（日赤安謝福祉複合施設）
- 3． 血液事業（沖縄県赤十字血液センター）

支部事業

1. 会員制度の普及促進と財政基盤の強化

日本赤十字社沖縄県支部の活動の財源は、協力会員・会員が納める会費によって賄われており、地区分区や赤十字奉仕団等の協力が必要不可欠である。令和6年度は企業への訪問や、新規の会費協力依頼の実施、また、自治会等への講習会などを通じて広報の強化を行い、赤十字活動への理解と支援につながるよう取り組んだ。

(1) 活動資金募集実績

	令和6年度	令和5年度
目 標 額	143,000,000円	143,000,000円
実 績 額	128,574,596円	126,973,126円
達 成 率	89.9%	88.8%

(2) 赤十字活動への理解・支援の拡大、会員増強への取組み

ア 協力会員・会員の加入促進

義援金・救援金寄付者に対する活動資金協力依頼の実施

赤十字有功章等表彰制度の紹介、遺贈（遺言によるご寄付）及び相続財産寄付の積極的な推進

イ 地区分区長会議の開催

宮古地区（4/2）、八重山地区（4/3）、中部地区（4/8）、南部地区（4/12）
北部地区（4/15）

ウ 副支部長企業訪問

沖縄本島、石垣市での企業訪問（合計45社）

エ 地区分区職員への協力依頼

地区分区担当課長研修会の実施（4/18）

オ 赤十字会員増強運動月間の実施

①知事メッセージの発表による県民への赤十字運動への参加呼び掛け（5/1）

※同日赤十字会員増強運動月間にかかる活動資金第一号贈呈式開催

②地区分区活動資金募集奉仕団出発式及び自治会（区長会）への説明会の実施

・奉仕団出発式（13地区分区）

4/15	西原町	5/1	うるま市	5/1	宜野湾市	5/10	糸満市
5/10	浦添市	5/13	南城市	5/14	八重瀬町	5/20	沖縄市
5/22	南風原町	5/22	豊見城市	5/23	石垣市	5/24	那覇市
7/1	宮古島市						

・自治会長説明会（12 地区区分・計 24 回）

4/15 読谷村	4/15 うるま市	4/15 南風原町	4/15 名護市(中央)
4/16 名護市 (屋我地)	4/19 名護(久志)	5/1 名護市(屋部)	5/1 名護市 (羽地)
5/1 西原町	5/2 八重瀬町	5/2 那覇市 (市営住宅)	5/7 糸満市
5/10 那覇市 (本庁・首里・小禄)	5/15 豊見城市	5/15 那覇市 (真和志)	5/23 宮古島市 (伊良部・本庁)
5/23 宮古島市 (城辺・上野・下地)	6/3 本部町	12/5 東村	

③赤十字地域奉仕団（18 団体）による募集活動（5 月会員増強月間）

④県下市町村にパンフレット・ポスターを配布

⑤月間テレビ CM（本社実施）、ラジオ CM(県支部実施)の放送

⑥地区区分、関係機関での運動月間懸垂幕の掲示

⑦地区区分へ支部専用振込手数料免除用紙の活用依頼

キ 広報活動の強化

- ・全国共通会員誌（クロスコムブック）の活用、ホームページの充実、ダイレクトメール、ニュースリリースなどの発信、新聞広告及びマスコミの活用などにより広報活動を強化
- ・琉球放送「ゆうわく時間」にて日本赤十字社沖縄県支部の事業について放映（9/18）
- ・「赤十字ふれあいフェスティバル 2024 in イオン南風原店」の開催
来客者に対して A E D 体験、災害用トイレの模擬体験等を実施（7/6）
- ・赤十字ふれあいイベントの開催（来場者らへ A E D 体験、災害用トイレ体験など）
 - ① 松島自治会防災・避難訓練（松島自治会）4/20
 - ② F C 琉球ホームゲーム（タピック県総ひやごんスタジアム）9/21
 - ③ 第 6 回おきなわ建設フェスタ（沖縄県総合運動公園）11/10
 - ④ 地域防災フェア（カフーナ旭橋）2/8
- ・防災体験ツアー（自治会住民などを対象に開催）
地域住民の「自助」「互助」「共助」と「公助」の連携により、災害への備えを進めることを目的に実施（23 回・320 名参加）

実施日	団体名	市町村	人数
7/24	上江洲区自治会	うるま市	15
8/9	安謝児童館	那覇市	23
8/22	宮前地区自治会	うるま市	12
8/27	伊是名村	伊是名村	18
9/17	民生委員児童委員協議会	大宜味村	11
9/20	小波津団地自治会	西原町	14
9/27	東区自治会	沖縄市	8
10/9	赤十字奉仕団	宜野湾市	17

実施日	団体名	市町村	人数
10/11	がじゅまる児童センター母親クラブ	糸満市	13
10/16	西川町女性会	糸満市	13
10/18	地域包括支援センター小禄	那覇市	17
11/7	みどり町5・6丁目自治会	うるま市	10
11/15	美咲区自治会	西原町	10
11/19	南桃原自治会	沖縄市	14
11/21	伊平屋村	伊平屋村	22
11/28	民生委員、児童委員連合会	読谷村	13
12/11	横田自治会	読谷村	8
12/20	喜名自治会	読谷村	20
1/10	長浜自治会	読谷村	18
1/16	上勢区自治会	北谷町	11
2/5	くもじ地域自治会	那覇市	6
2/18	与那城自治会	うるま市	13
2/25	北前区自治会	北谷町	14

ク 赤十字寄付金付自動販売機の設置推進 (110台、寄付金額 1,519,778円)

(3) 赤十字会員の表彰

ア 九州八県赤十字大会の開催 (12/17 福岡県 ヒルトン福岡シーホーク)
社資功労 社長感謝状4名 金色有功章1名

イ 沖縄県赤十字大会の開催 (1/24 浦添市てだこホール)

社資功労の部

厚生労働大臣感謝状2名、社長感謝状18名、金色有功章23名

銀色有功章39名 計82名

業務功労の部

社長感謝状7名、金色有功章19名、銀色有功章18名

支部長感謝状(10年)49名、支部長感謝状(5年)59名 計152名

2. 災害救護事業の強化

救護活動は赤十字活動の原点でもあることから、災害救護組織体制の整備と訓練による強化を図るとともに、義援金の受付と救護看護師の養成を行った。

また、沖縄県北部豪雨災害の発生に伴い、被災市町村への救援物資の配布、災害義援金の募集を実施。能登半島へ職員及びボランティア職員を派遣し、避難所でのリラクゼーションケアなど被災者支援にあたった。

(1) 日本赤十字社沖縄県支部救護班要員

ア	災害対策本部要員（支部施設役職員等）	38人
イ	血液供給要員（血液センター職員）	18人
ウ	特殊救護要員（薬剤師、助産師、介護福祉士等）	30人
エ	救護班要員	30人

医	師	1名	計6名
看	護	師	
長		1名	
看	護	師	
2名			
主	事	1名	
自動車	操作	員	
1名			

5個班編成
(沖縄赤十字病院)

オ	救護班補助要員	15人
カ	こころのケア指導者	7人
キ	日赤災害医療コーディネーター（医師）	3人
ク	日赤災害医療コーディネートスタッフ（医師以外）	7人

(2) 災害救護活動

ア 令和6年沖縄県北部豪雨災害への対応

令和6年11月8日から沖縄本島北部地域を中心に降り続いた大雨により、県内に甚大な被害をもたらした。

日本赤十字社沖縄県支部では、救援物資の配布や義援金を受付。

① 救援物資の配布

配布先	毛布	タオルケット	安眠セット	緊急セット	衣類セット	ブルーシート
国頭村	50枚	100枚	24セット	60セット	25セット	24枚

② 義援金の受付

沖縄県に義援金配分委員会が設置され、当支部も委員として参加

受付期間	県内受付額	県外受付額	合計額
R6年12月～R7年3月	9,865,251円	27,238,649円	37,103,900円

(3) 臨時救護班の派遣

ア 神奈川県南方諸地域戦没者追悼式（11/26）

沖縄赤十字病院職員 2名

イ NAHAマラソン（12/1）

日本赤十字社沖縄県支部職員 2名、沖縄赤十字病院職員 10名

(4) 救護研修・訓練の実施

ア 救護員研修

① 日赤沖縄県支部救護員登録研修

（4/2～5/20※e ラーニング研修 支部主催） 参加 14名

② 日赤沖縄県支部救護班研修（7/31, 8/29 支部主催） 参加 16名

③ こころのケア研修会（2/28 支部主催） 参加 12名

④ 日赤災害医療コーディネート研修会

（7/5～7/6 本社主催） 参加 2名（指導スタッフ1名、受講者1名）

(11/23～11/24 本社主催) 参加 1 名 (受講者)

⑤ 原子力災害時の救護班研修 (12/7 鹿児島県支部・本社主催) 参加 6 名

⑥ 災害対策本部要員研修 (1/23～1/24 熊本県支部・本社主催) 参加 2 名

⑦ 全国救護班研修会 (2/1～2/2 九州各県支部・本社主催)

参加 12 名 (指導スタッフ 5 名、受講者 7 名)

⑧ 日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修会 (2/15 本社主催)

参加 5 名

イ 救護員訓練

① 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

南海トラフ地震等各種災害対応計画作成、見直しのため休止

② 沖縄県総合防災訓練 (沖縄県主催)

沖縄県北部豪雨災害対応のため中止

③ 美ら島レスキュー (1/17 沖縄県・陸上自衛隊主催)

日本赤十字社沖縄県支部職員 2 名、沖縄赤十字病院職員 5 名

④ 航空機事故対処訓練 (那覇空港事務所主催)

・図上訓練 (1/9) 沖縄赤十字病院職員 1 名

・実働訓練 (2/6)

日本赤十字社沖縄県支部職員 1 名、沖縄赤十字病院職員 9 名

(5) 救護資機材の整備状況

医療 セット	テント		担架	寝台	発電機	発光機	蓄電池	衛星 電話
	エアータント	ドラッシュ						
3	3	1	10	10	2	4	5	5

ア 令和 6 年度配備

① 救援物資搬送トラック 1 台 (日赤本社整備により支部に配備)

イ 赤十字災害救護連絡車の配備

赤十字事業をより円滑に取り組むために要望があった市町村に対し配備。

令和 6 年度は嘉手納町へ配備 (2/25)

(6) 救援物資の備蓄状況

品 名	毛布	タオルケット	緊急セット	安眠セット	衣類セット	ブルーシート
数 量	3,219	1,282	1,390	493	144	201

ア 令和 6 年度救援物資の配布状況 (沖縄県内 火災・自然災害等の被災者)

地区区分名	毛布	タオルケット	緊急セット	安眠セット	衣類セット	ブルーシート
那覇市	2	—	26	—	2	—
うるま市	5	4	3	9	7	—
沖縄市	2	3	—	2	—	—
国頭村	50	100	60	24	25	24
北谷町	1	—	1	—	1	—
読谷村	—	—	—	—	4	—
糸満市	—	4	1	—	4	1
合計	59	111	90	35	42	25

(7) 救護看護師の養成

ア 日本赤十字九州国際看護大学に推薦入学を委託、かつ当該学生に奨学金を貸与

① 令和6年度奨学金貸与2名(4年次1名、2年次1名)

※奨学金額: 年額2人218万円(沖縄赤十字病院と折半)

② 令和6年度推薦入学試験: 応募者なし

(8) 義援金(国内)の受付状況(沖縄県支部)

受 付 名	受 付 期 間	件 数	金 額 (円)
令和6年能登半島地震災害義援金	R6年4月～R7年3月	128件	49,121,193
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	R6年9月～R7年3月	4件	100,830
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	R6年10月～R7年3月	37件	7,462,805
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金 ※県外受付分含む	R6年12月～R7年3月	927件	37,103,900
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	R7年3月～R7年3月	2件	25,000

(9) 赤十字防災ボランティアの養成

ア 養成研修

① 安全奉仕団役員、青年奉仕団向け赤十字防災セミナー
(7/11 日本赤十字社沖縄県支部主催) 参加12名

イ 関係機関との連携

① 災害時における災害ボランティアセンター運営に関する関係機関連絡会
(7/17 沖縄県社協主催) 参加1名

ウ 被災地支援活動

① 石川県輪島市ボランティア派遣
(3/14～15 活動日: 3/15 宮崎県支部合同) 参加3名(うち1名職員)
・避難所2ヶ所にて、ハンドケア、足湯などを避難者8名に実施。

(10) 地域における防災対応力の向上

ア 赤十字防災セミナーの実施

実施回数 67回 受講者数 2,628名

災害の備え(講義形式プログラム)

	受講対象者・団体名	実施日	参加者数		受講対象者・団体名	実施日	参加者数
1	那覇市地域包括支援センターかなぐすく	5/13	21名	13	中部地区老人クラブ連合会	10/21	180名
2	那覇国際高等学校	5/31	27名	14	ANA あきんど株式会社沖縄支所	10/24	8名
3	JAおきなわ東風平支店(女性部)	6/3	18名	15	株式会社クリード沖縄	11/18	21名
4	サポートステーション琉球	6/7	12名	16	沖縄県住宅供給公社	11/19	8名
5	平敷屋自治会	8/27	20名	17	安謝新都心自治会	12/8	16名
6	美東中学校	9/3	250名	18	東山区自治会	12/18	23名
7	沖縄県老人クラブ連合会	9/11	81名	19	松島区自治会	12/18	20名
8	沖縄市学童保育連絡協議会	9/26	48名	20	天久小学校	1/24	144名
9	小禄1丁目地域住民	9/28	13名	21	煎茶道協会	2/11	23名
10	ふれあいいきいきサロン若葉	10/5	18名	22	中央区自治会	3/4	23名
11	具志自治会防災訓練	10/6	80名	23	なか総合研究所	3/26	40名
12	中城村社会福祉協議会	10/8	28名				

家具安全対策ゲーム・うちのキケン（ペアワーク形式プログラム）

	受講対象者・団体名	実施日	参加者数		受講対象者・団体名	実施日	参加者数
1	沖縄 IT 津梁パーク	6/20	22 名	5	北大東村小中学生	7/26	9 名
2	那覇市学童保育連絡協議会	9/18	17 名	6	おやこ防災教室	9/8	20 名
3	社会福祉法人 千尋会	10/7	35 名	7	うるま市女性団体連絡協議会	3/19	35 名
4	糸満市商工会女性部	10/10	16 名				

ひなんじょたいけん（グループワーク形式プログラム）

	受講対象者・団体名	実施日	参加者数		受講対象者・団体名	実施日	参加者数
1	地区区分担当課長職研修	4/18	24 名	16	上間小学校	7/30	26 名
2	コザ高等学校	5/14	28 名	17	那覇中学校	8/20	10 名
3	八重瀬町役場	5/16	45 名	18	宜野湾市男女共同参画支援センター	9/7	30 名
4	豊見城市役所	5/30	60 名	19	沖縄県経営者協会	11/22	31 名
5	サポートステーション琉球	6/4	14 名	20	こども園まる	11/28	11 名
6	東新川自治会	6/9	20 名	21	読谷村役場	12/3	27 名
7	ソニービジネスオペレーションズ㈱	6/11	40 名	22	うるま市役所	12/6	40 名
8	ソニービジネスオペレーションズ㈱	6/18	30 名	23	泊児童クラブ	12/11	14 名
9	糸満中学校	6/28	180 名	24	豊見城市役所（市民向け）	12/16	50 名
10	ペアーレ沖縄・タビック	7/5	28 名	25	繁多川公民館	12/26	15 名
11	青年奉仕団、安全奉仕団	7/11	12 名	26	読谷村子ども会リーダー研修	1/18	20 名
12	具志川中学校	7/16	240 名	27	沖縄工業高校	1/30	12 名
13	有限会社スタプランニング	7/19	11 名	28	うるま市社会福祉協議会	2/17	36 名
14	北中城村役場	7/19	45 名	29	うるま市危機管理課	2/25	46 名
15	那覇市自主防災組織	7/26	11 名				

災害図上訓練（グループワーク形式プログラム）

	受講対象者・団体名	実施日	参加者数		受講対象者・団体名	実施日	参加者数
1	八重瀬町学童・保育所職員	6/25	59 名	5	南風原中学校	11/7	30 名
2	地域包括支援センター小禄	9/20	19 名	6	星槎国際那覇	11/11	29 名
3	地域包括支援センター識名	10/30	11 名	7	沖縄県企業立地推進課	11/13	11 名
4	地域包括支援センター石嶺	11/6	25 名				

災害エスノグラフィー（グループワーク形式プログラム）

	受講対象者・団体名	実施日	参加者数
1	JRC 高校協議会	11/30	12 名

イ 防災教育事業指導者の養成

- ① 防災教育事業主任指導者研修及びフォローアップ研修 (9/14～9/15 本社主催)

指導スタッフ 1 名、参加者 2 名（職員 1 名, ボランティア 1 名）

- ② 日本赤十字社防災教育事業技術委員会（6/13、2/27 本社主催）

参加者 1 名

3. 国際救援活動の推進

日本赤十字社では、世界各地で発生する紛争犠牲者及び災害被災者の支援のために、国際救援・開発協力要員の養成及び派遣を行っている。9月には、モンゴル赤十字社保健支援事業へ、沖縄県支部職員の派遣を実施した。また、海外での災害、紛争などの状況を県民へ広く周知し、救援金の受付を実施した。12月に行われたNHK海外たすけあい街頭募金では、JRC加盟校、赤十字有功会、赤十字地域奉仕団ほか、多くの県民から協力を得られた。

国際人道法普及として、各職員研修のほか、地区分区担当者や奉仕団対象の研修プログラムに国際人道法を加え一般の方への普及を図った。また慰霊の日に合わせ、安謝児童館の利用者を対象にセミナーを開催した。

(1) 国際活動事業地への職員派遣

ア モンゴル赤十字社保健支援事業への職員派遣

派遣職員：日本赤十字社沖縄県支部 職員 井上 稔之

派遣期間：令和6年9月13日から同年9月21日

派遣先：モンゴル国 首都ウランバートル等

職務内容：現地の救急法講習の質の向上及び、指導員育成に関する技術や知識の提供、支援

(2) 救援金（海外）の受付状況（沖縄県支部）

ア 救援金（海外）

受 付 名	受 付 期 間	件 数	金 額（円）
ウクライナ人道危機救援金	R6年4月～R7年3月	1件	5,656
イスラエル・ガザ人道危機救援金	R6年4月～R7年3月	1件	20,000
台湾東部沖地震救援金	R6年4月～R6年6月	55件	21,308,367
レバノン人道危機救援金	R6年10月～R6年12月	3件	121,734
地域を指定しない海外救援金	R6年4月～R7年3月	1件	10,000

イ NHK海外たすけあいキャンペーン（12/1～12/25）

救援金県内受付状況 71件 1,792,974円

(3) 国際人道法の普及

ア 国際人道法セミナーの実施

実施回数 9回 参加者数 286名

	受講対象者・団体名	実施日	参加者数
1	地区分区担当課長研修会参加者	4/18	34名
2	安謝児童館利用者（小中学生）	6/21	12名
3	支部施設合同中堅職員研修会参加者	10/4	21名
4	赤十字奉仕団基礎研修会	10/29	33名
5	南城市赤十字奉仕団研修会	11/28	23名
6	支部施設合同課長職研修会参加者	12/6	29名

	受講対象者・団体名	実施日	参加者数
7	奉仕団支部委員会	3/13	37名
8	南風原町奉仕団学習会	3/19	15名
9	中学・高校春季トレーニングセンター	3/28	82名

4. 赤十字奉仕団の活動強化

赤十字奉仕団は、赤十字活動において重要な役割を担っていることから、赤十字概論等の基礎研修及び各奉仕団での救急法や防災セミナー等を実施し、随時、奉仕団からの各種相談に対応した。また、国内義援金及び海外救援金等の街頭募金活動等への取り組みとともに、その支援を行った。

- (1) 奉仕団支部委員会の開催 3回 (7/9、11/8、3/13予定)
- (2) 地域赤十字奉仕団等の育成 24団体
 地域奉仕団 (19) 特殊奉仕団 (4) 青年奉仕団 (1)
 (休団中→地域：嘉手納町奉仕団、特殊：アマチュア無線奉仕団、バイクレスキュー奉仕団含)
 ※赤十字飛行隊沖縄支隊 (本社直轄)
- (3) 地域奉仕団による奉仕活動
 ア 赤十字病院での受付案内
 イ 移動献血場所での受付案内
 ウ 各地域での定例活動や活動資金募集 (企業・個人訪問)、海外たすけあい街頭募金活動の実施
 エ 愛の心もちつき会 (12/14 沖縄中央育成園) 142名参加
- (4) 奉仕団基礎研修会 (10/29)
 12奉仕団より 33名参加
- (5) 地域奉仕団出前講座
 (内容：赤十字概論、災害への備え、災害時高齢者支援、健康生活支援など)
 - ・ 5/27 北中城村奉仕団 (18名) ・ 6/22 中城村奉仕団 (13名)
 - ・ 6/24 沖縄市奉仕団 (33名) ・ 11/22 那覇市奉仕団 (10名)
 - ・ 11/28 南城市奉仕団 (23名) ・ 1/17 浦添市奉仕団 (19名)
 - ・ 2/12 与那原町奉仕団 (19名) ・ 3/17 那覇市奉仕団 (23名)
 - ・ 3/19 南風原町奉仕団 (12名)
- (6) 赤十字ボランティアリーダー研修会
 令和6年8月24日～26日 (本社、仲田豊見城市赤十字奉仕団委員長)

5. 青少年赤十字の拡充

青少年赤十字は、次代を担う青少年が、赤十字の「人道・博愛」の精神を理解し、日常生活の中での実践活動を通して、思いやりのある心豊かな青少年に成長することを目指して、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の中に組織され活動を行っている。

青少年赤十字加盟校の状況

	加盟校
保育園・幼稚園	5校
小学校	72校
中学校	71校
高校	50校
特別支援学校	1校
合計	199校

(1) 青少年赤十字賛助奉仕団による奉仕活動

ア 青少年赤十字加盟登録式への参加

東風平中学校	4/10	311名参加	古堅南小学校	5/13	85名参加
慶留間小中学校	4/11	18名参加	阿嘉小中学校	4/11	40名参加
渡慶次小学校	4/18	97名参加	西崎中学校	4/12	192名参加
古堅小学校	4/25	84名参加	読谷小学校	4/24	124名参加
喜名小学校	5/9	77名参加	古堅中学校	4/26	10名参加
読谷中学校	5/10	教頭、担当教員のみ参加			

(2) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター

ア 夏季 (8/12～8/14 玉城青少年の家) 51名参加
 イ 春季 (3/28～3/29 玉城青少年の家) 63名参加

(3) 第41回沖縄県青少年赤十字大会 (10/25)

沖縄県総合福祉センター ゆいホール 158名参加

(4) アメリカ赤十字ユースとの交流

ア 12/14 愛の心もちつき会 米赤ユースメンバーなど12名が参加
 イ 3/12 嘉手納基地内の交流会 県支部高校生ボランティア8名が参加
 ウ 3/29 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター
 米赤ユースメンバーなど 5名が参加

(5) 青少年赤十字防災教育 出前講座

ア サポートセンタースマイルキッズかわた 防災教室 (5/25)
 『まもるいのち ひろめるぼうさい』(小中高校生向け教材) 38名参加
 イ 松川児童くらぶ 防災教室 2回 (7/30、8/1)
 『まもるいのち ひろめるぼうさい』1回目 76名、2回目 24名参加

- ウ 上田児童クラブ 防災バスツアー (8/6)
『まもるいのち ひろめるぼうさい』、災害時炊き出し訓練、救急法
37名参加
- エ 中原小学校2学年 防災教室 (9/12)
『まもるいのち ひろめるぼうさい』140名参加
- オ 曙小学校4学年 防災教室 (10/2)
『まもるいのち ひろめるぼうさい』35名参加
- カ 長田児童クラブ 防災教室 (10/15)
『まもるいのち ひろめるぼうさい』、災害時炊き出し訓練、救急法
36名参加
- キ オキナワインターナショナルスクール 防災教室 (2/12)
『まもるいのち ひろめるぼうさい』21名参加

6. 講習普及事業の推進

交通事故、水難事故、高齢者を抱える家庭内での緊急時等に、身近にいる人が行える応急措置としての救助技術を修得してもらうことを目的とした各種講習会を開催した。

また、ボランティア指導員の活動促進を図るため、水上安全法・健康生活支援講習の指導員養成講習会を開催した。

(1) 講習会実施状況

令和7年3月末現在

講習種別		実施回数 (回)	受講者数 (人)
救 急 法	基礎講習	21	794
	救急員養成講習	5	130
	短期講習	63	2,996
	合 計	89	3,920
水上安全法	救助員養成講習 I	3	58
	短期講習	8	184
	合 計	11	242
健康生活支援講習	支援員養成講習	2	19
	短期講習	1	10
	災害時生活支援講習		
	合 計	3	29
幼児安全法	支援員養成講習	2	17
	短期講習	8	176
	合 計	10	193
総 合 計		115	4,497

(2) 講習指導員養成実績

水上安全法指導員養成講習 (10/2, 3, 8, 9, 10)	1 1 名受講
健康生活支援講習指導員養成講習 (2/13, 14, 19, 20, 21)	1 1 名受講

7. 職員の資質向上のための研修の充実

各階層の職員が、それぞれの果たす役割を理解するとともに、その役割を果たすためのスキルを身に付け、事業の円滑な遂行が行える人材の育成を目的として研修を実施している。

- (1) 支部施設合同中堅職員研修会の実施 (対象：概ね3年以上勤務した職員)
(10/4 参加者21名)
- (2) 支部施設合同課長職職員研修会の実施 (対象：課長職職員)
(12/6 参加者32名)

8. 赤十字各施設間の連携強化

支部・施設間、そして事業間の連携を通じた日本赤十字社としての「グループ力」を発揮し、各事業の質の向上や効率化を図るとともに、相乗効果によって実現できる新たな取組みを積極的に検討・展開していく。

- (1) 各施設に救護要員を配置しており、防災訓練については各施設救護要員を動員して参加し、互いの連携を強化
- (2) 支部施設管理会議を定例開催し、各施設長が運営状況の確認、意見交換を行い、施設間の連携を強化 (月に1回開催)
- (3) 支部施設総務課長連絡会議を定例開催し、情報共有を図り施設間の連携を強化 (月に1回開催)
- (4) 支部施設合同で職員研修を開催し、各施設職員間の連携を強化
※開催実績については、前項参照

9. 有功会、評議員に関する取組み

(1) 有功会

沖縄県赤十字有功会は、日本赤十字社有功章等を受章された方々により、平成2年12月に結成された団体。赤十字思想の普及および事業の推進を目的とし、赤十字事業の支援活動を行っている。

沖縄県赤十字有功会役員数 25 名。（令和 7 年 3 月現在）

ア 役員会

1. 日 時 令和 6 年 6 月 19 日

2. 付議事項

第 1 号議案 令和 5 年度事業実績及び歳入歳出決算

第 2 号議案 令和 6 年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）

第 3 号議案 役員の選出（案）

イ 総 会

1. 日 時 令和 6 年 7 月 17 日

2. 付議事項

第 1 号議案 令和 5 年度事業実績及び歳入歳出決算

第 2 号議案 令和 6 年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について

第 3 号議案 役員の選出（案）

ウ 主な活動

- ・「愛の血液助け合い運動」月間の広報懸垂幕の贈呈（7/1～7/31）
- ・沖縄県青少年赤十字大会で記念品贈呈（10/25）
- ・日赤紺綬有功会会長協議会総会（岩手県）への参加（11/6）
- ・NHK海外たすけあい街頭募金活動への参加（12/21）
- ・県内児童養護施設へ絵本贈呈（3/10）
- ・県支部への講習用人形（乳児マネキン）贈呈（3/10）

(2) 評議員会

日本赤十字社沖縄県支部の運営に関する重要事項を審議するための評議員会を以下のとおり実施した。議案は第 95 回、第 96 回ともに、評議員全員の賛成を得て、原案の通り承認された。

また、令和 7 年 2 月 13 日の任期満了に伴い、一斉改選を行った。

評議員数 21 名（令和 7 年 3 月現在）

ア 第95回評議員会

1. 日 時 令和6年6月13日
2. 会 場 日本赤十字社沖縄県支部 3階会議室
3. 参加者 評議員21名中 出席7名（代理出席含む）、委任状14名
4. 付議事項
 - 第1号議案 監査委員の選出
 - 第2号議案 令和5年度 支部事務局事業実績及び一般会計歳入歳出決算について
 - 第3号議案 令和5年度 沖縄赤十字病院事業実績及び医療施設特別会計歳入歳出決算について
 - 第4号議案 令和5年度 日赤安謝福祉複合施設事業実績及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について
 - 第5号議案 令和5年度 沖縄県赤十字血液センター事業実績について

イ 第96回評議員会

1. 日 時 令和7年2月7日
2. 会 場 日本赤十字社沖縄県支部 3階会議室
3. 参加者 評議員20名中 出席7名（代理出席含む）、委任状12名
4. 付議事項
 - 第1号議案 代議員選出
 - 第2号議案 副支部長選出
 - 第3号議案 監査委員選出
 - 第4号議案 令和7年度 支部事務局事業計画及び一般会計歳入歳出予算（案）について
 - 第5号議案 令和7年度 沖縄赤十字病院事業計画及び医療施設特別会計歳入歳出予算（案）について
 - 第6号議案 令和7年度 日赤安謝福祉複合施設事業計画及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算（案）について
 - 第7号議案 令和7年度 沖縄県赤十字血液センター事業計画について